

SDGs 未来都市の選定について

1 SDGs 未来都市の選定について

本県は、2019年3月、SDGs 未来都市の提案書を内閣府に提出し、その後、2019年7月に「SDGs 未来都市※」に選定されました。

※ SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) の理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として内閣府が選定。

昨年度29自治体が選定され、今年度は本県を含む31自治体が選定。

2018年度選定	4県25市町村 (県内: 豊田市)
2019年度選定	3県28市町村 (県内: 愛知県、名古屋市、豊橋市)

2 本県の提案内容について

本県は、「世界をリードする日本一の産業の革新・創造拠点」(経済面)、「人が輝き、女性や高齢者、障害のある人など、全ての人活躍する愛知」(社会面)、「県民みんな未来へつなぐ『環境首都あいち』」(環境面)の調和を取りながら活力と持続力を兼ね備えた大都市圏を目指し、「SDGs 未来都市あいち」を提案。

主な取組については以下のとおり。

側面	取組内容
経済	1 近未来技術等の社会実装の推進 2 スタートアップと既存企業の連携によるイノベーションの創出 3 自動車分野における新事業展開支援 4 「モノづくり×IT」をテーマとした大学対抗ハッカソン※の開催
社会	1 若者の活躍促進 2 女性の活躍促進 3 障害者の活躍促進 4 外国人の活躍促進
環境	1 「あいち地球温暖化防止戦略2030」の推進 2 EV・PHV・FCVの普及促進 3 循環型社会に向けた取組 4 自然との共生に向けた取組 5 行動する「人づくり」
情報発信、普及・啓発	
特に注力する先導的取組	
○「愛知目標」達成に向け先導した「あいち方式」の発展・確立プロジェクト 等	

※ ソフトウェアのエンジニアリングを指す「ハック」と「マラソン」を組み合わせた造語で、ITを活用して新たなサービスや製品等の開発を競い合うイベント。

3 県の推進体制

SDGsの達成に向けて、庁内各局等の連携のもとに着実に取組を推進するとともに、本県の取組を広く発信するため、知事を本部長とした「愛知県SDGs推進本部」を2019年7月16日に設置。

また、本県のSDGsの取組に関する3年間の計画「愛知県SDGs未来都市計画」を今月中に策定し、計画に沿って事業を実施する。

参考 SDGs（持続可能な開発目標）について

- 2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標
- 持続可能な世界を実現するための17のゴール（目標）・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っている。



17の目標

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| ① 貧困をなくそう | ⑩ 人や国の不平等をなくそう |
| ② 飢餓をゼロに | ⑪ 住み続けられるまちづくりを |
| ③ すべての人に健康と福祉を | ⑫ つくる責任、使う責任 |
| ④ 質の高い教育をみんなに | ⑬ 気候変動に具体的な対策を |
| ⑤ ジェンダー平等を実現しよう | ⑭ 海の豊かさを守ろう |
| ⑥ 安全な水とトイレを世界中に | ⑮ 陸の豊かさも守ろう |
| ⑦ エネルギーをみんなに、そしてクリーンに | ⑯ 平和と公正をすべての人に |
| ⑧ 働きがいも経済成長も | ⑰ パートナーシップで目標を達成しよう |
| ⑨ 産業と技術革新の基盤をつくろう | |